

# みなと新潟



新潟港

2020年1月

No.92


謹賀新年



(一社)新潟港振興協会 マスコットキャラクター

みなと坊や エール君

一般社団法人 新潟港振興協会

◇ 会長挨拶 (一社)新潟港振興協会会長 中原 八一	.....	2
◇ 新潟港整備促進要望活動	.....	3
◇ 日本港湾振興団体連合会総会報告	.....	5
◇ 新潟港物流基礎講座	.....	6
◇ 会員から、こんにちは!(No.2)	.....	7
◇ エールくんの港町気分(No.2)	.....	8
◇ みなと☆イベント広場	.....	9
◇ 平成30年新潟港の港勢	.....	10
◇ 新潟港  貿易統計	.....	11
◇ 連載 新潟港のあゆみ (No.10)	.....	14
◇ 事務局日誌／編集後記	.....	15



---

# 新年ご挨拶

一般社団法人 新潟港振興協会  
会長 新潟市長 中原 八一



---

あけましておめでとうございます。

2020年を迎えるにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

会員の皆さまには、平素から新潟港の振興のためにご尽力とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年1月1日、新潟港が世界に開かれてから150周年となる節目を迎えました。「海フェスタにいがた」を皮切りに、昨年まで2か年に渡り、記念となる各種事業を開催したことで、国内外に新潟の歴史・文化と、未来に羽ばたく新しい新潟を発信できたことは大きな成果でありました。

そして、今年オリンピックイヤー。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。新潟市は、ロシア、フランス、モンゴルを相手国とした「ホストタウン」に登録されており、新体操のロシア代表チーム、空手のフランス代表チームの事前合宿地を予定しています。本市にとっても、オリンピックはまたとない交流人口拡大のチャンスであります。「みなとまち新潟」は、古くから川湊とともに人やモノの交流拠点として栄えてきました。また、海を越えて入って来るさまざまな異文化を、おおらかに受け入れてきた気風が本市にはあると思っております。そんな気風を大いに活かし、新潟らしい「おもてなし」で新潟を訪れる世界の国々の皆さまに「来て良かった」と感じていただきたいと思っております。

そのためにも、引き続き新潟駅を起点とした観光エリアの形成や、国内外からの観光客が快適に滞在できるよう、おもてなし態勢を強化し、交流人口拡大に取り組んでまいります。

また、拠点性向上に向けたまちづくりについては、国・県とも連携し新潟港・新潟空港の活性化に向けた取り組みを始め、新潟駅の高架化を着実に進めることで未来に向かって「全国とつながる」「世界とつながる」拠点都市・新潟の実現を進めてまいります。

これからも新潟港振興協会は、将来の新潟港の方向性を見据え、皆さまをはじめ関係団体と活発な議論を重ねながら積極的に取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き皆さまからご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新潟港振興協会のますますの発展と、会員・関係各位のさらなるご活躍とご多幸を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



国土交通省へ要望活動（令和元年12月4日）  
令和2年度新潟港（東・西港区）  
新潟港海岸整備事業

12月4日（水）、当協会会長の中原新潟市長をはじめとして当協会役員及び港運関係者は国土交通省に対して令和2年度予算要望活動を行いました。

要望項目は以下の通りです。

1. 日本海側港湾の機能別拠点としての新潟港東港区の機能強化
  - ①防波堤（西）の洗掘対策推進
  - ②東西埋立地護岸の老朽化（陥没事故）対策
  - ③国際海上コンテナターミナルの機能強化
2. 新潟港西港区における港湾機能の維持
  - ①第二西防波堤整備の推進
  - ②浚渫事業の推進
3. 新潟開港150周年を契機とした新潟港西港区の施設整備
  - ①万代島の施設整備に向けた検討
  - ②西港区への大型クルーズ船の寄港に向けた施設整備の検討
4. 新潟港海岸（西海岸地区）侵食対策事業の推進

要望団

会長  
副会長  
副会長（代理）  
理事  
理事（代理）  
オブザーバー

中原 新潟市長  
南波 (株)リンコーコーポレーション代表取締役社長  
関本 北越コーポレーション(株)取締役物流企画本部長  
小林 富士運輸(株)代表取締役社長  
杉山 日本通運(株)新潟海運支店長  
長川 聖籠町東港振興室長

【要望書の手交】



高田 昌行 港湾局長



浅輪 宇充 大臣官房技術総括審議官

要望団は高田港湾局長・浅輪技術総括審議官に面会し、要望書を手交し要望項目についての詳細説明を行いました。また、面談は有りませんでした。以下の政務三役、審議官、大臣官房、港湾局幹部にも要望書を提出いたしました。

(政務三役) 赤羽一嘉国土交通大臣、青木一彦国土交通副大臣、門 博国土交通大臣政務官

(審議官) 藤井直樹国土交通大臣審議官

(大臣官房) 磯野正義大臣官房審議官、堀田治大臣官房技術参事官、木村典央大臣官房会計課長

(港湾局) 岩城宏幸総務課長、谷口礼史港湾経済課長、中村晃之計画課長、石橋洋信産業港湾課長、杉中洋一海岸・防災課長

### ● 中原会長の要望コメント (抜粋)

「これまで進めていただいている新潟港東港区防波堤の洗掘対策、西港区の港内静穏度確保に向けた第二防波堤の整備、西海岸浸食対策事業については、事業費ベースで9割方の進捗率となっています。お陰様で、新潟港の安全な航行や荷役作業に繋がっています。」

「西海岸の浸食対策事業では、近隣住民の暮らしに安心・安全が保たれるようになりました。国土交通省の格別なるご支援に厚く御礼を申し上げます。引き続き早期完了に向け、令和2年度の予算措置をお願いします。」

「また、離島航路及び北海道航路が就航している新潟港西港区は、信濃川上流からの流下土砂の堆積が著しいことから、航路確保のための航路浚渫を引き続きお願いします」

「次に、施設の老朽化対策です。昨年5月に、新潟港東港区のエネルギー関連施設が集積する東西埋立地で陥没事故が発生しています。背後で操業している企業の安全確保のため、埋立地護岸等の老朽化対策をお願いします。」

「最後に、東港区のコンテナターミナルと、西港区に9万トン級のクルーズ船が寄港できるよう施設整備等、機能強化の検討へのご協力をお願いします。」

### ◆ 面会各氏の主なコメント

高田港湾局長 「現場から状況を聞き確認しておく。」

「コンテナターミナルを1バース増やすには、かなりの貨物を増やさないといけない。」

浅輪技術総括審議官 「港湾局及び北陸地方整備局で引き続き対応させていただく。」

「首都直下地震が発生した際、首都圏の貨物をどのようにして新潟、北陸に持っていくか、北陸地方整備局では7年前から代替輸送訓練を行っている。ガイドライン等を出していくので参考にしてほしい。」

「陥没事故については、点検を事細かく行っていくことが必要になるので、港湾管理者と一緒に一定の技術的なアドバイスをしていく。」

「クルーズ船が西港区に入るのは良い。受入れをよろしく願いたい。」



日本港湾振興団体連合会第53回通常総会  
中原八一会長が篠田昭前会長に引続き会長に就任  
令和元年10月2日（豊橋市）

10月2日（水）、豊橋市において日本港湾振興団体連合会の令和元年度総会が開催されました。同連合会は、本総会を以って退任する篠田昭会長（前新潟市長、前当協会会長）の後任に、当協会会長の中原八一氏を推薦し満場一致で可決しました。

前任の篠田昭会長は4期8年にわたり会長を務められ、本総会を以って勇退されましたが、同会の発展に寄与された功績は多大でありました。

中国などのアジア物流が活発化する中、日本海側港湾の重要性を国内外にアピールするためにも、引き続き新潟市長でもある中原会長が当連合会の会長に就任する意義は大変に大きく当協会としても大いに期待しています。



就任挨拶をする中原会長

○2019年度事業計画では以下の活動が承認されました。

（前文）「高質の港湾を創造し港湾振興を進めるためには、これまでも増して多様な情報の収集、知識と知恵の蓄積を行い、具体的な戦略・戦術をまとめ、行動を起こすことが必要であることから港湾振興協会などの全国の港湾振興関係者の情報ネットワークや人と組織のネットワークを資源として活用し、より効率的な港湾振興活動を全国的に進めるため以下の活動を実施する。」

（主な活動）

- ・ 連合会会員のネットワークの強化、新規会員の勧誘等を通じ連合会組織強化を図る
- ・ 日本港湾協会等港湾関係諸団体と連携し、港湾整備促進、港湾振興の推進に関わる活動を幅広く実施する
- ・ 港湾諸団体とともに「21世紀みなとづくり推進実行委員会」を構成し、広く国民を対象とした港湾に関するPR活動を実施する。
- ・ 港湾振興に関わる幅広い情報を収集・整理し、会員に配布する

## 令和元年度第2回 新潟港物流基礎講座（11月6日）

### ● 新潟港物流基礎講座 11月6日（水）（参加者：30名）

令和元年度第2回目の講座を新潟テルサに於いて開催しました。

今回は、目覚ましい経済成長を遂げ「次代の市場」として世界から注目を集めているベトナム市場の魅力と課題についてと、京浜港の五輪混雑やBCP（事業継続計画管理＜自然災害への危機管理＞）、ドレージ不足等で広がる地方港活用の動きを背景に新潟港の利用が注目される中、新潟港発着の国際海上輸送サービスの概要について、分かりやすく解説して頂きました。

#### 《講座内容》

##### ■ 「ベトナム市場の魅力と課題」

（講師）A I B A認定貿易アドバイザー

（公財）にいがた産業創造機構

事業アドバイザー（国際ビジネス支援） 田辺 良則 氏

##### ■ 「新潟港発着 国際海上輸送サービスの概要」

（講師）日本通運株式会社 新潟支店

営業課長 水澤 団 氏



貿易アドバイザー 田辺 良則 氏



日本通運(株)新潟支店 水澤 団 氏

受講者からは、「さまざまな視点からベトナムそしてベトナム経済の話が聞けて参考になった」「ベトナムに進出している県内企業の話が聞けて良かった」「ベトナムとのビジネスを考えていたので、とても参考になった」「新潟港での貨物の流れと京浜港の現状が良く分った」などのご意見を頂戴いたしました。

一方で「ベトナムビジネスの課題についてもっと詳しく聞きたかった」「通関に必要な書類についてもう少し詳しく聞きたかった」などの意見も寄せられていました。

今後もこれらのご意見・ご提案等を参考にしながら、更に有意義な物流基礎講座を開催するなど、会員サービスに努めてまいります。



## 🚢 会員から、こんにちは！ No.2 🚢

新潟港振興協会会員の皆様からリレーで、各社の沿革や事業の紹介及びPR、そしてこれからの抱負、さらに新潟港との関わりや今後、新潟港に期待する事柄等について投稿いただくページです。

今回の投稿は、「佐渡汽船 ㈱」です。



青い海にひときわ映える「ときわ丸」

こんにちは 佐渡汽船株式会社です。

弊社は新潟と佐渡を結ぶ船会社として、新潟～両津間と直江津～小木間に定期航路を運航しております。

現在、弊社の主要航路である新潟～両津間にはカーフェリー「ときわ丸」「おけさ丸」、そして3隻のジェットフォイル「ぎんが」「つばさ」「すいせい」が就航しています。ジェットフォイルをご利用いただければ、所要時間 67 分でお気軽に佐渡

へお越しいただけます。また、直江津～小木間には双胴船タイプの高速カーフェリー「あかね」が所要時間 100 分で就航しています。

それでは、現在弊社が力を入れている女性職員を中心とした「PR推進室」の活動をご紹介します。PR推進室は、SNSを活用した積極的な佐渡の魅力発信や船旅の楽しさを向上させる様々なイベントの企画、実施などを通じて、より多くのお客様に佐渡へお越しいただけるように活動しています。

一例をご紹介しますと、佐渡島内のスイーツを集めた船上カフェ、ヨーヨーすくいやわたあめの販売などお子様連れのご家族に好評な夏祭り、佐渡産の新米やおけさ柿等、佐渡の味覚をふるまう秋の収穫祭など様々なイベントをカーフェリー船内のイベントプラザで開催しています。

他にも、公式ブログ「さどトリコ」と手書き新聞「佐渡は東京 23 区よりも広いよ新聞」（通称：よりも新聞）では、社員目線の一味違った佐渡での楽しみ方を紹介しています。是非ご覧になってください。



夏祭り in ときわ丸の様子

弊社はこれからも新潟港を拠点の 1 つとして、安全運航の徹底に努め、快適な航海をお客様に提供するとともに、新潟港の魅力向上のために協力していきたいと考えておりますので、引き続き宜しくお願いたします。





## エールくんの 港町気分 NO.2

※エールくんが、港の魅力を紹介します。



目の前で大きく旋回して出航する「ときわ丸」。青い船体が美しい。

### 今日も港日和！

ユーミン(松任谷由美)のヒット曲に「海を見ていた午後」という曲がありますよね。場面は、別れた恋人と訪れたことのある山手のレストラン。この店に来る度にあなたを思い出して涙が出てしまう、という切ない歌です。永遠の小学2年生のボクには経験がないけど、何となくわかる気がするよ。

曲の一節に「晴れた午後には三浦岬も見える。ソーダ水の中を貨物船がとおる。小さなアワも恋のように消えていった」という歌詞があります。ソーダ水の中を貨物船がとおるなんて、本当にロマンチックな情景ですよね。おそらく場所は横浜で、高台にある洒落たレストランから横浜港を眺める情景が目に浮かびますよね。

港を俯瞰できる高台に洋館や赤煉瓦倉庫といったエキゾチックな環境が揃っている横浜港は、さすが横浜最大の観光資源になっているだけあって素晴らしいですよ。新潟港には高台も洋館もないけど、横浜港に負けちゃあいないよ。

みなとぴあ敷地内にあるレストランでジュースを飲みながら窓の外に目をやると、佐渡汽船が船首を右に大きく旋回させながら、目の前でダイナミックに出航する場面を見ることができるんだ。港町ならではの風景だよ。それと、新潟には港を見おろす高台はないけど、朱鷺メッセやみなとタワーから眺める港の大パノラマはとても魅力的だよ！是非、行ってみてください。





# みなと☆イベント広場



## ● みなとぴあ（新潟市歴史博物館）展示情報

開港五港のひとつ、みなとまち新潟の歴史と文化に触れることができる博物館の展示情報をご紹介します。みなとぴあは、国の重要文化財の旧新潟税関庁舎や昭和初期の建造物である旧第四銀行住吉町支店、2代目新潟市役所庁舎のデザインを用いた博物館本館などが立ち並び、さらに堀をイメージして設けられた水路とその脇に植えられた柳など、浪漫溢れる景観も楽しめる施設です。是非ともお立ち寄りください。



博物館本館



旧新潟税関庁舎



旧第四銀行住吉町支店

### 【企画展示】

「収蔵品展・新収蔵品展」

期間：令和2年2月15日（土）～3月22日（日）

収蔵品展では、収蔵資料の中から選りすぐりの資料が紹介され、新収蔵品展では、新たに収集されて資料が紹介されています。

### 【常設展示】

水運や農業など、様々に「水」と深く関わりながら生きてきた新潟の人々の歴史や文化を、ジオラマや映像、実物資料を使って分かりやすく紹介しています。また、ミュージアムシアターでは、みなとぴあのオリジナル作品4本を上映しています。

### 【開館時間】

4月～9月：9：30～18：00 10月～3月：9：30～17：00

### 【休館日】

月曜日、休日の翌日、年末年始、他に くん蒸休館、施設整備休館あり

### 【観覧料】

常設展：一般：300円 高校・大学生：200円 小学・中学生：100円

企画展：展毎に異なります(常設展も観られます)。収蔵品展・新収蔵品展は無料

※ミュージアムシアターは常設展や企画展のチケットでご覧になれます。

### 【お問い合わせ先】

新潟市歴史博物館 ☎ 025-225-6111

## ● 港関連情報

### ○ 絵本「どこかの だれかと -にいがた湊物語-」復刻版が完成！

「新潟みなとクラブ」は、新潟港開港150周年を契機に平成17年3月に発行した同書を、「にいがた湊あねさま倶楽部」の協力を得て復刻しました。

新潟西港の歴史がとても分かりやすく理解でき、素敵な絵が楽しめる絵本です。小中学校や図書館、幼稚園、保育園を始め高齢者福祉施設などへ寄贈されましたが、若干残りがあるため希望する方は下記の要領でお求めできます。なお、制作協力金として1冊500円の寄付をお願いします。



<表紙>

記

- ・店頭渡しの場合：みなとぴあ売店、情報工房DOCの3店舗（朱鷺メッセ店、県庁店、メディアシップ店）
- ・郵送の場合：NPO法人新潟みなとクラブHPの申込みフォームに必要事項を入力送信。後日、レターパックにより郵送（1人5冊まで）。送り状と振込用紙が同封されますので、寄付金と送料をお振込みください。

新潟みなとクラブホームページ URL：<http://minatoclub.la.cooan.jp/>

お問い合わせ先：新潟みなとクラブ事務局 ☎090-5569-6798 メール [minatoclub@mbr.nifty.com](mailto:minatoclub@mbr.nifty.com)



# 平成30年 新潟港の港勢



コンテナ取扱個数は外貿輸出入合計で約17万1千TEU  
 (対前年比5.2%増)で2年連続の増加となり平成26  
 年以来4年ぶりに17万TEUを超えました。

※個数の単位はTEU(20フィート型換算個数)



## (1) 入港隻数

		単位	平成30年	前年比(%)	構成比(%)	平成29年
総数	隻数	隻	8,351	96.9	100.0	8,614
	総トン数	総トン	40,923,628	98.0	100.0	41,744,281
外航	隻数	隻	881	90.3	10.5	976
	総トン数	総トン	15,386,812	96.3	37.6	15,978,923
うちフルコン	隻数	隻	425	82.2	48.2	517
	総トン数	総トン	3,786,571	83.4	24.6	4,541,826
内航	隻数	隻	7,470	97.8	89.5	7,638
	総トン数	総トン	25,536,816	99.1	62.4	25,765,358

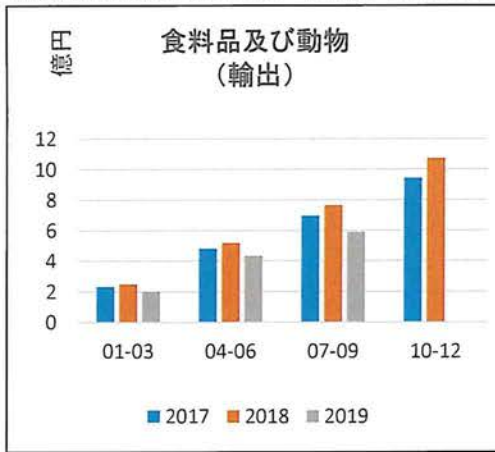
## (2) 出入貨物

		単位	平成30年	前年比(%)	構成比(%)	平成29年
総数	貨物量	トン	32,296,947	103.6	100.0	31,166,059
	うちコンテナ貨物量	トン	2,773,985	103.3	8.6	2,684,648
	コンテナ個数	TEU	233,740	103.0	100.0	226,907
外貿	計	トン	15,194,729	101.1	47.0	15,033,746
	輸出	トン	1,130,695	103.9	3.5	1,088,745
	輸入	トン	14,064,034	100.9	43.5	13,945,001
うち コンテナ貨物	計	トン	2,647,596	103.7	17.4	2,552,297
	輸出	トン	807,882	108.2	71.5	746,381
	輸入	トン	1,839,714	101.9	13.1	1,805,916
コンテナ個数	計	TEU	170,833	105.2	73.1	162,422
	輸出	TEU	83,858	106.4	35.9	78,840
	輸入	TEU	86,975	104.1	37.2	83,582
内貿	計	トン	17,102,218	106.0	53.0	16,132,313
	移出	トン	7,234,196	102.5	22.4	7,055,555
	移入	トン	9,868,022	108.7	30.6	9,076,758
うち コンテナ貨物	計	トン	126,389	95.5	0.7	132,351
	移出	トン	91,115	96.3	1.3	94,652
	移入	トン	35,274	93.6	0.4	37,699
コンテナ個数	計	TEU	62,907	97.6	26.9	64,485
	移出	TEU	34,444	97.2	14.7	35,429
	移入	TEU	28,463	98.0	12.2	29,056

注) コンテナ個数は、実入・空の合計。「うちコンテナ貨物」の構成比は、外貿又は内貿の貨物量に占めるコンテナ貨物の割合。

【新潟港湾事務所「平成30年 新潟港湾統計年報」データより抜粋】

概況品目輸出入比較（2017-2019の四半期毎の累計）※比較（黒字）は2017と2018



増加品目の主なもの 玄米  
 数量 2,020tから2,849 tに増加  
 貿易額 3.4億円から4.6億円に増額

〔2019第三四半期累計減少の主理由(前年同期比較)〕

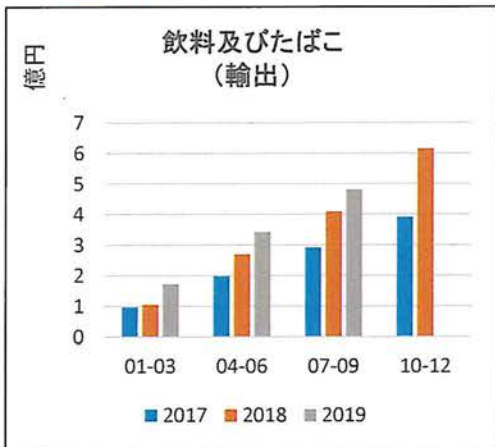
・玄米の減少



増加品目の主なもの 精米 (MA米)  
 数量 40,801tから53,712 tに増加  
 貿易額 26億円から51億円に増加

〔2019第三四半期累計減少の主理由(前年同期比較)〕

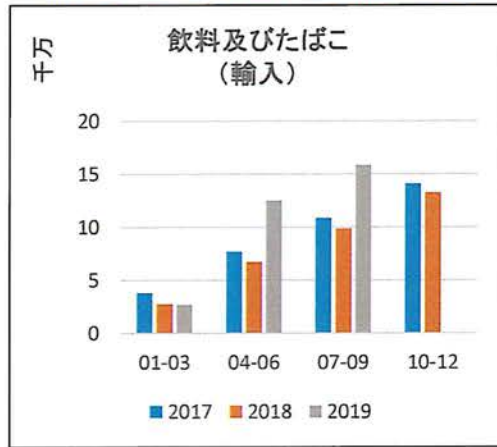
・魚介類、碎米が増加するも精米が減少



増加品目の主なもの 清酒  
 数量 781KLから973KLに増加  
 貿易額 3.7億円から5.6億円に増額

〔2019第三四半期累計増加の主理由(前年同期比較)〕

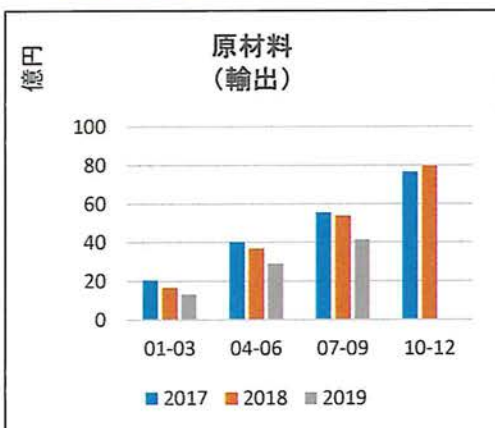
・清酒の増加



減少品目の主なもの 発泡酒 (スピリッツを加えたもの)  
 数量 1,161KLから919KLに減少  
 貿易額 0.9億円から0.7億円に減額

〔2019第三四半期累計増加の主理由(前年同期比較)〕

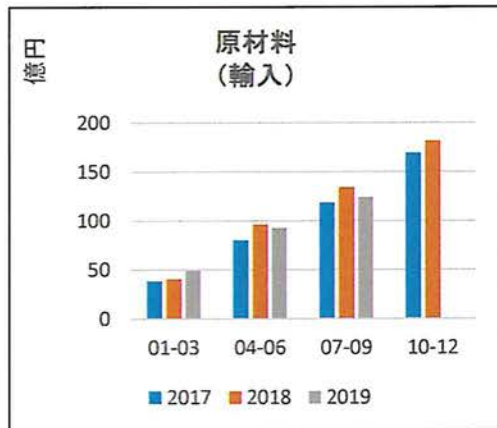
・ウイスキーの増加



増加品目の主なもの パルプ及び古紙  
 数量 7万 tから8万 tに増加  
 貿易額 17億円から24億円に増額

〔2019第三四半期累計減少の主理由(前年同期比較)〕

・鉄鋼くず、古紙の減少



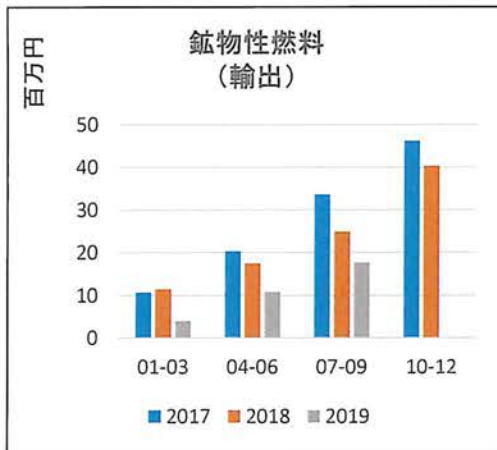
増加品目の主なもの 木材  
 数量 0.7万m<sup>3</sup>から4万m<sup>3</sup>に増加  
 貿易額 3億円から15億円に増額

〔2019第三四半期累計減少の主理由(前年同期比較)〕

・木材(特にラワン、針葉樹の丸太)と粗鉱物(特に塩)と非鉄卑金属くずの減少



概況品目輸出入比較（2017-2019の四半期毎の累計） ※比較（黒字）は2017と2018



減少品目の主なもの 潤滑油及びグリス  
数量 127 t から119 t に減少  
貿易額 4千万円から3.6千万円に減少

[2019第三四半期累計減少の主理由(前年同期比較)]

・潤滑油及びグリスの減少

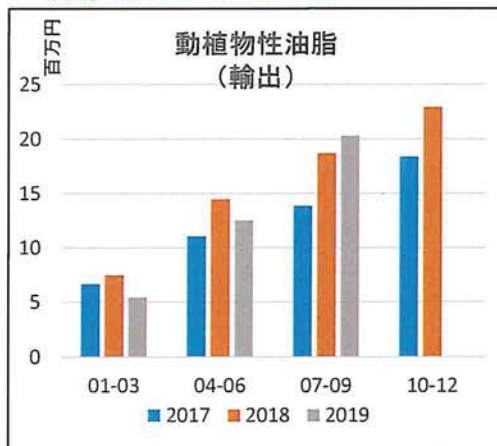


増加品目の主なもの LNG

数量 372万 t から365万 t に減少  
貿易額 1,610億円から1,998億円に増加

[2019第三四半期累計減少の主理由(前年同期比較)]

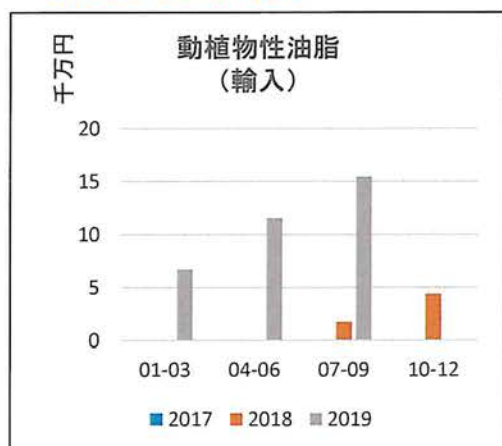
・LNG、LPGの減少



増加品目の主なもの 加工油脂  
数量 268 t から332 t に増加  
貿易額 1.8百万円から2.3百万円に増額

[2019第三四半期累計増加の主理由(前年同期比較)]

・加工油脂及びろうの増加

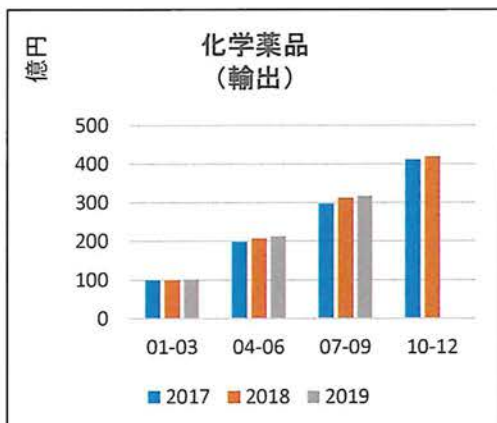


増加品目の主なもの 魚の油脂

数量 全増  
貿易額 全増額

[2019第三四半期累計増加の主理由(前年同期比較)]

・魚の油脂の増加

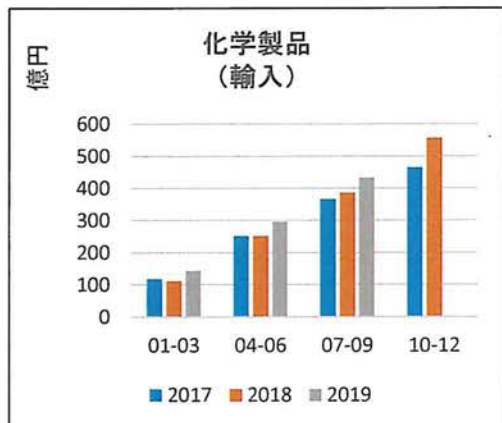


増加品目の主なもの 化合物

数量 統計表記無し  
貿易額 148億円から154億円に増額

[2019第三四半期累計増加の主理由(前年同期比較)]

・プラスチックが大きく減少する一方で、有機化合物、抗生物質、その他の化学製品等が増加



増加品目の主なもの 化合物・プラスチック

数量 化合物 統計表記無し  
プラスチック 3.5万tから4万tに増加  
貿易額 化合物 266億円から311億円  
プラスチック 92億円から113億円

[2019第三四半期累計増加の主理由(前年同期比較)]

・無機化合物の増加

概況品目輸出入比較（2017-2019の四半期毎の累計） ※比較（黒字）は2017と2018



増加品目の主なもの 紙類及び同製品  
数量 18万tから25万tに増加  
貿易額 142億円から211億円に増加

〔2019第三四半期累計減少の主理由（前年同期比較）〕

- ・紙及び板紙、ビレット及びシートバー等、非鉄金属、金属製品の減少



増加品目の主なもの

木材チップ・鉄鋼・アルミ・卑金属家庭用品  
貿易額 843億円から921億円に増加

〔2019第三四半期累計増加の主理由（前年同期比較）〕

- ・ウッドチップ、鉄鋼のフラットロール製品等の増加

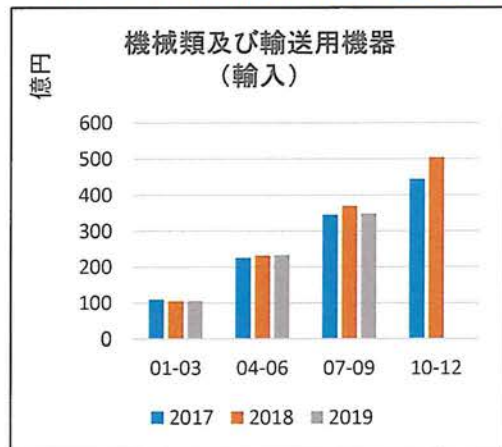


減少品目の主なもの 船舶類

数量 164隻から181隻に増加  
貿易額 67億円から2億円に減少

〔2019第三四半期累計増加の主理由（前年同期比較）〕

- ・原動機が減少するも、鉄道用車両、気体圧縮機、発電機等が増加

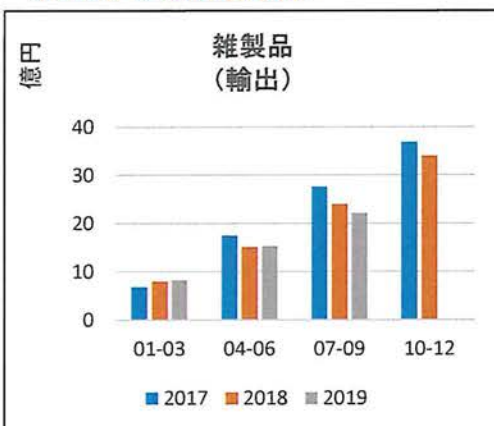


増加品目の主なもの

金属加工機器・家庭用電気機器  
貿易額 122億円から152億円に増額

〔2019第三四半期累計減少の主理由（前年同期比較）〕

- ・自動車部分品、航空機類、建設用・鉱山用機械等が増加するも金属加工機械（特に旋盤）が減少



減少品目の主なもの 写真用の化学調製品

数量 42tから17tに減少  
貿易額 3.7億円から2.2億円に減少

〔2019第三四半期累計減少の主理由（前年同期比較）〕

- ・科学光学機器（特に計測機器類）、プラスチック製品（特に事務用品、プラスチック製キャップ）の減少



増加品目の主なもの プラスチック製品

数量 1.8万tから2万tに増加  
貿易額 81億円から98億円に増額

〔2019第三四半期累計増加の主理由（前年同期比較）〕

- ・バッグ類、下着類、家具、はき物等の増加



## 新潟港のあゆみ

～新潟の近代化と港～ No.10

- ・1000年以上前からその名を歴史に残す「新潟港」
- ・長い歴史を経て新潟港は「湊」から「港」へ変わってきました。

- ・高度成長を遂げた昭和期の新潟西港・新潟東港を紹介します。

(新潟市編「新潟港のあゆみ」より抜粋)

### 第三節 関屋分水と新潟港

#### 【航路の拡大と旅客（前号からの続き）】

昭和50年代、新潟港の航路はコンテナ航路とフェリー航路を中心に拡大した。昭和51年、県・市などによる出荷の呼びかけでソ連とのナホトカ航路が再開された。就航船はソ連の一般貨物船であったが、昭和55年11月にTSCS（トランス・シベリア・コンテナサービス）のコンテナ船も就航した。このコンテナ船は、ナホトカの隣にあるポストチヌイ港と新潟東港を結ぶ定期航路になった。国内航路では、昭和59年2月に日本通運株式会社による富山－直江津－新潟－小樽間のコンテナ航路「日本海ライン」が開設された。日本海側初の内航コンテナ航路であった。日本海ラインの需要は多く、9月に富山－新潟－酒田－小樽－留萌間が増設され

敦賀新潟小樽間のフェリー航路は、昭和51年に6万2000人余りが新潟港で乗降し、その73%は小樽方面の乗降であった。このため、昭和52年5月に新潟－小樽間は独立したフェリー航路になった。小樽航路の輸送機械（ほとんどが自動車）の移出入は昭和58年に両津航路を上回り、乗降人員も同61年には9万7000人余りに増加した。また、全便がフェリーになっていた両津航路には、上越新幹線の開通に備え、昭和52年5月に、新潟－両津間を1時間で結ぶ国内初のジェットフォイルが就航した。両津航路の年間乗降人員は昭和50年代に一時170万人台に落ち込み、同61年に200万人台に回復した。また輸送機械の移出入は、フェリーの大型化や、高速道路の延伸などで昭和61年に21万6000台余り（乗用車換算数）になった。また、新潟港と佐渡間には赤泊経由の小木航路もあったが、昭和54年に赤泊港までに短縮され、同63年には新潟赤泊間も休便となって両津航路に集約された。

#### ④西港再開発と東港開発の進行

##### 【ポートルネッサンス21】

昭和60年3月、当時の運輸省と建設省、そして県と市などからなる新潟港周辺地域整備計画調査

委員会が報告書を発表した。報告書には新潟西港を中心とした臨海部・周辺市街地の整備計画や、万代橋下流に二本の連絡路（港口部ルートと万代島ルート）を設ける計画などが提言されていた。これらを受けて、昭和61年6月に国の港湾審議会は新潟港の港湾計画を全面改定した。西港の改定計画は、東西海岸部を埋め立てて、東海岸地区に大型船の埠頭や小型船の船だまり、入舟地区に物流ターミナルや海洋性レクリエーション拠点を造り、東西を結ぶ臨港道路を設置するという大規模なものであった。また、万代島の再開発や、旧新潟税関周辺の保存と緑地整備等も計画されており、どれも新潟市の都市整備に大きく関わるものであった。

西港の整備構想は、運輸省が昭和61年度に策定した「ポートルネッサンス21」によって進められた。これは、民間活力を導入して商業施設や会議場を港に取り入れ、港を市民に親しまれるものに再生させようという政策であった。運輸省・県・市による調査が昭和62年度から始まり、平成元年3月に結果がまとめられた。発表された四地区の整備構想は、万代島地区が「新潟港の新賑い空間」、入舟地区が「21世紀の国際交流空間」、山の下地区が「高質な港湾業務空間」、中央地区（県営埠頭）が「高度な物流空間」であった。これらの中で、万代島の再開発が重点に挙げられた。

また、港湾業務の主力を東港に移した新潟臨港海陸運送株式会社も、臨港埠頭周辺を商業やレジャー施設などに再開発する検討を始めた。

##### 【万代島再開発】

万代島は、先端部がフェリー埠頭に再開発されていたが、そのほかは多くが民間倉庫に利用され、一部は水産物揚場などになっていた。平成元年3月の再開発構想では、倉庫群を撤去し、親水緑地・展望タワー・博物館・見本市ホール・シーフードレストランなどを設ける予定であった。総事業費を約100億円、工期を10年と見込み、第三セクター方式による整備が望ましいとしていた（次号に続く）。



## 事務局日誌 (令和元年9月～令和元年12月)

10.2～3 日本港湾振興団体連合会総会 (豊橋市)	11. 6 第2回新潟港物流基礎講座
10.23 北陸の港湾を考える懇談会 (東京)	12. 4 新潟港(東・西港区)、新潟港海岸整備事業 促進に関する要望活動 (国土交通省)
10.24 経済と暮らしを支える港づくり全国大会 (東京)	



### 編集後記



- ・ 皆様、あけましておめでとうございます  
日頃から当協会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます
- ・ 今年は子年。新しい十二支のサイクルがスタートする年であり、年号が令和になって初めて迎える新年でもあります。そして何よりも、東京で2回目のオリンピックが開催される今年は、我が国にとって大きな節目となることでしょう(メダルの色と数が、今からとても気になります)
- ・ 皆様にとっても今年が、希望に満ちた明るい年でありますようお願い申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願いたします
  
- ・ 昨年末、下町(しもまち)の友人を訪ねた帰りにみなとぴあ(新潟市歴史博物館)に立ち寄りました。しばし中庭に佇み、改修されてきれいになった旧新潟税関庁舎を眺めていたら、つい昔の事を思い出しました
- ・ 50年以上昔の話です。私が小学生の頃、私も含め下町の子供たちにとって税関庁舎とその前に広がる空き地は格好の遊び場でした。当時、何をするための施設なのかまったく理解していませんでしたが、何となく変わった建物があるなという印象でした
- ・ 開港当初は現在と同じなまこ壁だったので、その当時の外壁は下見板張りで薄い緑色のペンキが塗られ、お世辞にもきれいとは言えない外観でした。建物の中には大きな机と椅子だけの会議室のような部屋がいくつかありました。何故か職員の方と会うことはほとんどなく、中に入って注意された記憶はありません
- ・ 白い壁に上下式の外窓とシャンデリア。それらにテレビや映画で見たことのある「西洋風」をなんとなく感じていました。搭屋に上ったこともありました。落書きがあったので先入者がいたのは確かです。搭屋に上る階段がとても急で、灯りもなく薄暗く、少し怖かったのを覚えています
- ・ 敷地内にはバス通りに面して大きなポプラの並木があり、夏になると早起きをしてセミの幼虫が羽化するのを観察しに行ったのも良い思い出です
- ・ 帰り際にふと振り返ると、150歳を超えた旧新潟税関庁舎がどっしりと構え、新潟港そして新潟のまちの発展を優しい眼差しで見守っているかのようでした
  
- ・ 会員の皆様には既にご案内しておりますが、2月7日(金)に新潟テルサを会場として当協会主催の貿易講座(今年度第3回目)を開催いたします。時節柄、何かとご多用の折かと存じますが、多くの皆様からご参加賜りますようお願いいたします

みなと新潟  
NO. 92

発行元 一般社団法人 新潟港振興協会 025-225-5851 FAX 025-227-3800  
〒951-8061 新潟市中央区西堀通3-799 マンション西堀カリア 202号室 令和2年1月発行  
URL <http://www.niigata-port.com>